



日出町の歴史を学ぶ講座「致道館塾」の卒塾生が、町内の歴史や名所、特産品などを題材にしたカルタを自費製作しました。

2020年5月20日付大分合同新聞12面

① カルタを作った理由
は？ 卒塾生の思い
を記事から抜き出し
てください。

「遊びを通して、ふる
さとの魅力を再発見する
きっかけになれば」

②カルタは何セット製
作しましたか？ 完
成するまでどれくら
いかかりましたか？

500 セット。
2018 年から取り組み
2020 年に完成した。

③原画を担当した河野さんが工夫したことを二つ挙げてください。

- ・親しみやすいよう色鉛筆で色付けした。
- ・子どもや歴史について詳しくない人でも一目で分かるよう工夫した。

④あなたが住む市町村の魅力は何ですか？ カルタを作るならどんな絵札・読み札にしますか？
話し合ってみましょう。



絵札の原画は、親しみやすいよう色鉛筆で色付け



カルタを製作した「致道館塾卒塾生の会」のメンバーら。日出町藤原

歴史、名所など題材

日出町学ぶカルタ

【日出町】日出町の歴史を学ぶ講座「致道館塾」の卒塾生でつくる「致道館塾卒塾生の会」が、町内の歴史や名所、特産品などを題材にしたカルタを自費製作した。「遊びを通して、ふるさとの魅力を再発見するきっかけになれば」と話している。

「致道館塾」卒塾生 遊び通し魅力再発見を

致道館塾は、文教のまちづくりを担う人材を育てようと、町教委が旧日出藩校「致道館（日出）」で2006年に開講（1期2年）。これまでに約160人が受講している。同会は講座で学び切れないかった歴史を探索し、交友を深めていこうと、08年に発足。15人のメンバーが中心となり、18年から製作に取り組んできた。卒塾生から読み札の案を募り、協議を重ねた。同塾で講師を務める野崎一郎さん（82）＝豊岡＝の助言を受け、今年ようやく完成に至った。全44枚の絵札の原画は、東光会会員の洋画家で東美術協会委員の河野育代さん（64）＝藤原＝が担当した。資料を見たり、実際に現地に出向いたりしてスケッチし、親しみやすいよう色鉛筆で色付けした。「子どもや歴史について詳しくない人でも一目で分かるよう工夫した。多くの人に使ってもらいたい」500セットを製作。うち、220セットは町内の小中学校などにプレゼントした。残りは1セット千円で販売する。問い合わせは同グループ事務局（☎090・3013・1386）。（吉止啓貴）

致道館塾は、文教のまちづくりを担う人材を育てようと、町教委が旧日出藩校「致道館（日出）」で2006年に開講（1期2年）。これまでに約160人が受講している。